

平成 25 年度 事業報告 (25.4.1 ~ 26.3.31)

【 事業活動方針 】

展望「はじめは小さな一輪から」

未来への提案 ― (小さな花の輪運動) (生まれ変わる農芸) 他の実現化

【 事業内容 】

(1) 公益事業

1. 花の輪事業

◇ 小学校に花・木の苗を寄贈

次代を担う子供達に、花を育てることを通して「生命」「愛」「平和」の大切さを学んでもらいました。ミニストップ株式会社の協賛を受けています。

◆第 23 回 花の輪運動

「育てよう、花と緑、校庭に」

1 都 2 府 24 県・2,734 校より応募 抽選で当選 850 校に贈呈

※岩手・宮城・福島県より応募の 219 校には無抽選で贈呈

都道府県	応募数	当選数	都道府県	応募数	当選数	都道府県	応募数	当選数
青森	18	13	東京	354	80	京都	102	21
岩手	9	9	神奈川	225	50	大阪	228	53
宮城	91	91	静岡	88	35	兵庫	131	25
福島	119	119	三重	87	21	香川	37	7
群馬	53	13	愛知	207	57	徳島	45	8
栃木	98	30	岐阜	57	17	愛媛	15	4
茨城	114	34	滋賀	15	4	福岡	145	44
埼玉	218	47	福井	10	4	大分	18	3
千葉	208	48	奈良	33	7	佐賀	9	6
合計							2,734	850

◎原発避難の福島県大熊町立の 2 校 (熊町小学校・大野小学校) へ財団より贈呈

◇ 地域・自治体と共に花と緑の生活環境づくり

地域に暮らす人たちの手で、花や緑を増やしていく運動

◆成田市、市川市、野田市、芝山町で展開

◆野田市みどりのフェスタに協力

◇ 花の復興支援活動 (株式会社ネットワークの協力)

◆千葉県旭市の仮設住宅 (旭文化の森公園内/いいおかふれあいスポーツ公園内) にプランターを寄贈

平成 25 年度 事業報告 (25.4.1 ~ 26.3.31)

- ◇ 種から育てる寄贈型育苗セット「花物語」を展開
 - ◆被災地をはじめ全国の子供たちに花苗を寄贈
 - 個人または企業・団体でご購入 → 育苗・返送 → (農場で成育調整) → 寄贈
 - (寄贈先: 社会福祉法人「福田会」/トルコ共和国シネム・クルチ大使夫人より)

2. 環境教育事業

- ◇ 子供たちが農業体験や自然の環境に触れることを通して、農業や自然環境に対して少しでも興味を示して貰うことを目的とし様々な自然体験・環境学習を実践
 - ◆地元高齢者の指導による小学生の田植え・稲刈り体験
(コシヒカリ…イオンチアーズクラブ/華紋四谷カルチャークラブ)

3. 花の普及啓発事業

- ◇ 花や緑に関する研修やセミナーを通して、それらの栽培方法の指導・相談はもとより、花や緑を通して参加者の人生や生活が潤うことを目的として、いつも花や緑のある暮らしを提案(農芸セミナー)
 - ◆春の英国田舎風寄せ植えの会 (4月16日)
 - ◆スタイリッシュな観葉植物の寄せ植えの会 (7月3日)
 - ◆ミニ胡蝶蘭でつくる苔玉の会 (10月2日)
 - ◆魅惑のオールドローズの寄せ植えの会 (2月5日)

4. 花の生活環境事業

- ◇ 花や緑を通して、地域の健全な発展、住民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養することを目的とし、多くの方々が目にする公共施設に対して、花や緑の植育や鑑賞の場を提案し、花の潤いと香りを街角、街路、公益スペースに展開する活動
 - ◆成田市役所通り 成田市ポケットパーク・さくらの山 成田市保健福祉館
成田市ハンギングバスケット 成田市国道 295 号沿線花壇

5. 広報活動事業

- ◇ 花と緑の啓蒙普及に加え、会員の皆様との交流ツールとしての財団機関紙の発行 → 「花の心」第 69 号~72 号 (新創刊 30 号~33 号)

平成 25 年度 事業報告 (25.4.1 ~ 26.3.31)

(2) 収益事業

1. 花の販売事業

- ◇ フラワーメンテナンス事業

四季折々の花をイオン各店舗の店頭や事業所などに設置

2. 物販事業

- ◇ 「芝山さくら祭」に協力→花の里茶屋の営業
- ◇ 「芝山はにわ祭」に協力→花の里茶屋の営業
- ◇ 花の里（和い処）で作られたお米・味噌・クッキーなどの販売
- ◇ 「米」と「薔薇」の特別頒布 （※設立 25 周年記念企画を継続）